



# 人権教育だより R7第4号

令和7年(2025年)12月22日

鹿本農業高等学校

人権教育主任 野尻 貴輝

## ～言語環境を整え、1人ひとりが輝く学校づくり～

2学期お疲れさまでした。冬休みも心身のバランスを整えながら、過ごしていきましょう。

10月30日(木)人権講話「ハンセン病をめぐる人権」

講師 中 修一様(菊池恵風園退所者の会「ひまわりの会」会長)

事前に「ハンセン病」について学習をし、質問や感想を講師の方に送りました。

当日は、ご回答とハンセン病についてご自身の体験談をご講話いただきました。

・差別で生まれた悔しさを持った人がたくさんいると思うから、そんな悔しさがまた生まれないように自分らがしないとしました。(1年)

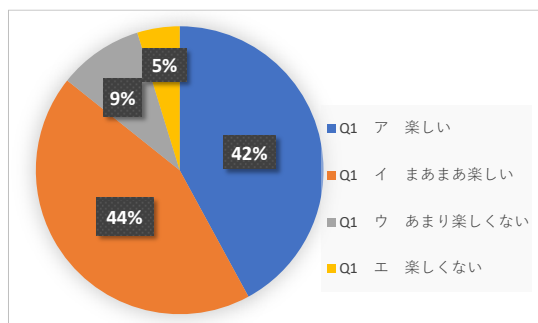
・講話の中で自分が変われば人も変わる、人が変われば社会も変わるという言葉がとても印象に残りました。(2年)

・平等な見方ができるように、若いうちから様々な考えを見て、聞いて、考えていきたいと思った。(3年)



2学期心のアンケートの結果について

11月17日(月)に実施しました。学校生活やいじめについて、スマホの使い方などを調査しました。



「学校が楽しいか」という項目では、86%の生徒が楽しいと感じている一方14%の生徒が楽しくないと感じていました。また、学校以外でのスマホ使用時間が3時間以上の生徒が全体の8割を占め、特に6時間以上使用している生徒は約3割いました。

代議委員会「朝のあいさつ運動」

2学期は定期考査後に各昇降口に立ち、行いました。1学期よりもあいさつを返してくれる生徒たちが増えたとの感想などがありました。

3学期は、2月3日(火)～6日(金)に行く予定です。



人権コラム「己所不欲、勿施於人。」

さて、今回のコラムのタイトルは何と読むかわかりますか。2年生の「言語文化」の授業で行った『論語』の一節です。「己の欲せざる所、人に施すこと勿(な)かれ。」と読みます。自分がしてほしくないことは、相手にしてはいけないという意味で、「恕(思いやりの心)」を説明する時に孔子が話した言葉です。日常では自分がしてほしくないことを、相手にしてしまったということがよくあります。今一度、自分の言動をふり返ってみましょう。

◎人権作品入賞一覧◎数多くの作品の中からの受賞。おめでとうございます!

令和7年度(2025年度)人権メッセージ 佳作 3年食品科学科 Nさん

「あなたと私の考え方は違う。でも、ゴールは一緒。」

令和7年度(2025年度)心のきずなを深めるための標語 奨励賞 1年食品科学科 Mさん

「スマホより 仲間を見よう 向き合って」

